

MFJ国内競技規則 2026

付則 12 耐久レースの仕様

1 クラス区分

一般生産型車両をベースとしたMFJ公認車両で行われる。

2 出場車両

- 2-1 一般生産型車両でMFJが公認し、参加する各クラスの仕様に適合していること。
- 2-2 耐久用の仕様を満たしていること。

3 重量

それぞれの定められたスプリントレース用の最低重量に3kgを加えることとする。

灯火類の装備を義務づけられる耐久レースでは、定められたスプリント用の最低重量に5kgが加えられる。

4 耐久仕様

- 4-1 車両には確実に作動するスタート装置が装備されていなくてはならない。
- 4-2 燃料タンク
- 4-2-1 給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
- 4-2-3 最大容量を増やすための燃料タンクの改造は許されるが、サイドからの外観形状は変えられない。また、タンクの材質は車両公認時のものから変更できない。
ST600、ST1000クラスの容量は大会特別規則に定める。
- 4-2-4 フュエルフィラーキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。
- 4-2-5 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 4-2-6 登録されたスペアタンクの使用が認められる。ただし車両に取り付けられるまで燃料の充填はできない。
- 4-3 灯火類
- 4-3-1 夜間にかかるレースの場合は公認された発電・充電装置を備えてであること。これらはレース期間中およびレース後の車検において正常に作動するものであること。
- 4-3-2 ヘッドライト、ストップランプは正常に作動すること。またライトを追加することは認められる。
- 4-4 ホイールの交換を容易にするための改造は、それぞれのクラスの改造範囲でなければならない。
- 4-5 ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、それぞれのクラスの改造範囲内でなければならない。
- 4-6 フロントフェンダーは、車両公認時のものでなければならない。ただし耐久の場合、フロントフェンダーのマウント位置の変更は認められる。この場合充分安全を考慮しなければならず、柔軟な素材を使用してはならない。
- 4-7 ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取り付けても良いが、フェアリングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。
- 4-8 フロント／リアホイールスタンドを取り付けるためのブラケットはフレーム、エンジンブロックまたは

リアフォーク（スイングアーム）にボルト止めされなければならない。これをするためのフェアリングのカットは認められる。

ただし、ブラケットとフェアリングのクリアランスは5mm以上なければならない。

4-9 ウィンドスクリーンの高さは自由とする。